

一般財団法人地域活性化センター フェロー

山田 実希

ロケーションジャパン編集部 編集長



<略歴>

広告制作会社でのディレクター、コピーライターを経て、2013年に国内唯一のロケ地情報誌「ロケーションジャパン」の編集長就任。全国の地域を取材、映画・ドラマの現場取材や役者・監督インタビューのほか、各地で発足するロケ支援組織や地域産品を活用した物産開発チームの設立にも立ち会う。

～委員～

- ・静岡県観光アドバイザー（2018年～）
- ・千葉県いすみ市ブランド認定委員副委員長（2017年～）
- ・長崎県アンテナショップ選定委員（2017年～）
- ・「全国ふるさと甲子園」審査員（2015年～）

<得意とする分野>

メディアを活用した効果的なプロモーション＝ロケツーリズムによる地域振興

<具体例>

- ・「ロケーションジャパン」に蓄積されるロケツーリズムの成功地域事例を元に、PRのノウハウを各地で講義。
- ・映画・ドラマ・情報番組等のロケ実績を活用した、観光地化・観光客誘致に関するアドバイス。
- ・俳優の映った映画等のシーン写真を、ロケ地マップやロケ地パネルなど、観光ツール制作（ロケ地を掲載する際に必要な「権利処理」交渉）の指導。
- ・雑誌の読者であるメディア・映像制作者へ情報発信、各地へロケ誘致を行う。
- ・SNSを活用した情報拡散の方法を指導。

<自治体等との連携実績等>

【東京都調布市】

情報発信・権利処理交渉セミナーを実施。映画『花束みたいな恋をした』の誘致後、映画公開に合わせ、ロケ地マップやロケ地パネルを監修。ウィズコロナでも調布市でロケ地巡りが話題に！と、TBS『グッとラック！』（出演）、「朝日新聞」でも取り上げられ話題に。

【岩手県久慈市】

2013年、NHK朝ドラ『あまちゃん』放送中に、危機感を抱いた商工会議所から相

談。セミナー開催をきっかけに、官民一体の組織「あまロス嘆き隊」を結成。観光客向けのロケ地 MAP、ロケ地ツアーを指導し、まちを周遊してもらいリピーターを呼ぶ仕掛けを行う。朝ドラ放送後7年経ってもTV等メディア露出が増加中。2018年に久慈市を舞台とした映画『星屑の町』が決定、公開前にも関わらず広告換算効果307万円（直接経済効果121万円）。市のPRに活用している。

【千葉県いすみ市】

2017年に千葉県いすみ市ブランド認定委員に就任。特産品のPRについてアドバイス、映像制作者へ情報発信を行い、ドラマ『孤独のグルメ』を誘致。情報番組等の露出が前年28件→2017年度は48件と倍増。伊勢えび・いすみ豚等、市の特産品の認知度が向上。2017年の地方創生イベント「全国ふるさと甲子園」で、「じあとん井」が世界に誇るグルメ大賞第1位を受賞。4年連続「住みたい田舎No.1」（宝島社「田舎暮らしの本」）に選出。

<その他特記事項>

ロケーションジャパンは、“ロケツーリズム”成功地域の最新情報を紹介しており、全国の自治体・企業がノウハウを学ぶ「ロケツーリズム協議会」の公式テキストです。3.5万部発行のうち、1万人のメディア・映像制作者が購読しています。

実は、「地域の良さ」に当事者は気付いておらず、ロケ誘致で止まり、観光へ活用できることを知らない地域が非常に多いです。私の役割はそこに光を当て、①映画ドラマのロケ実績をどうやって「観光」に活用するか、②地域の魅力をいかにして効果的にプロモーションするか、アドバイスすることです。また、映像制作者も地域情報を自ら収集することは難しい。そのマッチングも同時に行っています。